

第5回大台町立小学校のあり方検討委員会 報告書
【保育園代表及び小学校 PTA との懇談】
(宮川小学校区)

アンケート結果では、保護者・一般ともに「基礎的学力の向上」と「安心して学べる学校づくり」を重視。教育環境では「安心して学校生活を送れる環境」「安全な通学」「教員の指導体制の充実」が上位で、「多くの仲間と切磋琢磨できる環境」や、一般層では「地域の人とのつながり」も重視された。

(意見)

- 人数が多いほうが切磋琢磨できるという趣旨は理解します。現在、全国的に不登校の児童生徒が増えている中、今後も増える可能性はあります。実際に学校に行けていない友達が今どれくらいいるのか、みなさんはどの程度把握されているのでしょうか。そうした子どもたちも含め、これからの「学びの場づくり」をどう考えるかが大切です。
- 大台町、特に宮川地域でしかできない教育体制を活かしたいです。森林を活用した学習など、他県と比べても体験活動の幅は広いと思います。給食も含めて地域資源を生かし、宮川小学校の「外交（対外的な発信）・特色」は他校と比べてもあると感じます。将来、子どもたちが「この地域で仕事ができる」と実感できるよう、地域の大人が地域資源の魅力や仕事の可能性をもっと伝えることも必要です。
- 今はリモートでできる仕事も増え、世界・日本各地を視野に入れたグローバルな学びを取り入れることも魅力になると思います。小規模校だからこそできることがあるはずです。
- 保育園でも「保育園留学」など移住につながる動きがあります。小学校も、環境面だけでなく、学校や先生方の取組を発信していけば、もっと魅力が伝わると思います。ホームページなどの情報発信を強化するだけでも印象が変わります。外部メディアに積極的に取材してもらうなど、魅力を広く届けてはどうでしょうか。

児童数減少への対応（資料 4～6）では、統合に前向きが多数。統合時は「通学手段」「通学路の安全」「距離・時間」を重視、現状維持の場合は「少人数教育の充実」「安心・安全な学習環境」「交流学习の拡充」、一般では「複式学級に対応できる教員研修」も挙げた。

(意見)

- 宮川小学校は、すばらしいデザインの校舎だと思います。校舎があるのは魅力の一つです。
- 今年、プール監視のボランティアをしました。他校は気温 30 度超で開放できない日も多い中、宮川小は比較的開放日が多かったようです。プールから見える景色はすばらしく、もっとたくさんの人が利用できたらいいのにと感じていました。ただ、町内全体から通うには距離の課題もあります。せっかく整っている設備を、夏休みなどにもっと活用しやすく、情報発信（ホームページ等）と結びつけられないでしょうか。

- 人口減少・消滅可能性が指摘される中、人を呼び込むには移住や UJ ターの促進が必要です。小学校があること自体が、子育て世帯の移住判断に大きく影響します。学校がなくなると地域の魅力が下がり、戻りにくくなることも懸念します。できる限り学校は残したいというのが私の思いです。
- 近隣の紀北町・三浦地区では、少人数でも地域・教育委員会・保護者・学校が協力し、地域の学校でできることを追求して継続しています。全国にはさらに小規模でも特色ある取組をしている学校があります。「人数が少ない＝統合」という短絡は避け、何を大事にして学校を運営するか、丁寧に議論したいです。
- 人数が少なくても、他地域や他校と交流すれば学びは広がられます。外に出る経験を増やすことで、子どもたちの視野は広がります。
- 学校がなくなるとは地域の活力に直結します。いまある魅力に気づいていない面も多いので、まずは情報発信を強化して、地域内外に知ってもらうことが重要です。大人が「都会で暮らす道」を当然視するのではなく、「地域で生きていける」未来像を子どもに示す必要があります。そのためにも学校の役割は大きいと感じます。
- 子どもは一度外に出て初めて地元の良さに気づくこともあります。大切なのは、戻ってきたいと思ったときに戻りやすい基盤があるかどうか。例えば「実家に戻りたいが小学校がないならやめておこう」となるかもしれない。学校の存続・魅力化は、将来のリターンにも関わります。また、地域には多様な働き方やスキルを持つ大人がいます。オンラインも含め、稼ぎ方の選択肢を小中学生のうちから触れられる機会があると、将来像が広がると思います。先生方の言葉や関わりは子どもに強く残ります。学力以外の学びも含め、学校の価値は大きいです。
- 自分は幼少期から保育園・小学校・中学校まで同じ仲間でも過ごしました。ずっと一緒に育った関係性はかけがえがありません。人数が少ないことでトラブルの逃げ場がないなどの側面もありましたが、先生方が手厚く見てくれた良さもあります。進学で大きな集団に入ると新しい刺激を受けて成長できる面もあり、どちらにも良さがあります。
- 保育園での体験活動をボランティアで続けていますが、準備や時間の負担が大きいのも事実です。町や学校・保育園の取り組みとして、ボランティアが継続しやすい仕組みを検討いただけるとありがたいです。
- 統合を前向きに検討していただきたいと思います。子どものためというなら、やはり他の世界を知らないというのはもったいなく、いろいろな経験をするには人数が多い方がいいと考えます。外にはたくさんの人や物事で溢れているということを知ってほしいです。子どものことを思うのであれば、統合の話と地域活性化の話は別で考えるべきではないかと感じました。